

基本理念・基本方向

クボタグループ行動憲章・クボタ社員行動基準

クボタグループが社会的責任を果たし、グローバル企業として発展しつづけていくため、企業・社員としてどう

あるべきかの原則を示すものとして、「クボタグループ行動憲章」「クボタ社員行動基準」を制定しました。

クボタグループ行動憲章 (2002年制定)

～ 企業、社員としての基本的な考え方～

法令の遵守と倫理に基づいた企業活動

クボタグループは、市場において公正な競争を妨げないよう、関係する法令を遵守し、社会的倫理や良識にしたがった企業活動を行います。

基本的人権の尊重

クボタグループは、「世界人権宣言」に則り、基本的人権を尊重し、人権侵害を行いません。そして、プライバシーの尊重と、個人情報の保護に細心の注意を払います。

安全な職場環境の維持、向上

クボタグループは、安全で健康的な職場環境の維持、向上を目指し、災害の発生を未然に防ぐとともに、安全衛生教育、訓練等への参加を通じて、職場の安全衛生意識の高揚に努めます。

地球環境の保護

クボタグループは、「クボタ地球環境憲章」に則り、地球的規模で持続的な発展が可能な社会及び企業と市民が相互信頼のもとに共生する社会の実現を目指し、地球環境の保全に配慮した企業活動を行います。

製品安全の確保

クボタグループは、製品(商品)の安全性確保が社会的責務であることを認識し、お客様の立場で、製品安全の確保に努めます。

国際社会との共存

クボタグループは、国際ルールを遵守するとともに、現地の文化や慣習を尊重し、現地の人々との交流を深め、地域経済の発展に貢献し、地域社会の信頼を得よう努めます。

クボタ社員行動基準 (1999年制定)

～ 行動憲章の理念を実行する為の具体的な基準～

基本的行動基準

「法令の遵守と公正な企業活動」「人権の尊重」等、全員に共通する11項目

部門別行動基準

営業、研究開発、生産等、職種別の8項目

ガバナンス

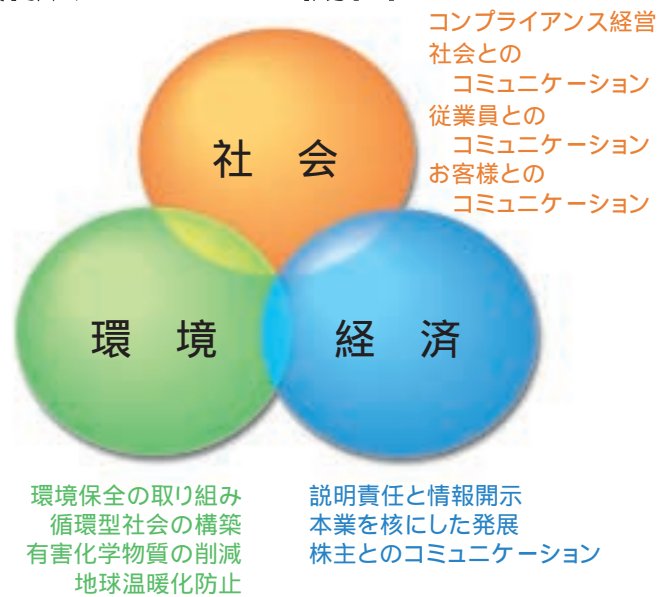
当社は、ステークホルダーの皆様や社会との関わりを重視し、各方面からの信頼を高めることが継続的な企業価値向上につながるものと考え、コーポレート・ガバナンスの充実を重要な経営課題としてとらえ、持続的な取り組みを進めています。

また、情報開示にも積極的に取り組み、株主・投資家の皆様とのコミュニケーションの活発化を図りつつ開示の迅速化・充実化を進めるとともに、決算内容や経営政策の適時かつ正確な開示を行い、経営の透明性を高めています。

持続可能な社会の構築に貢献する3つの側面

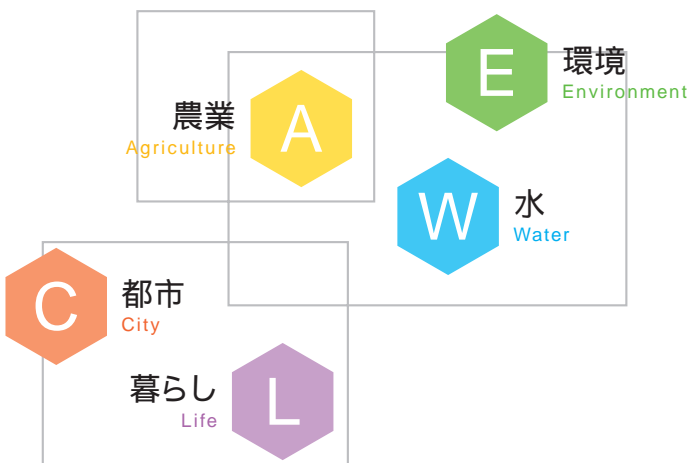
持続可能な社会の実現をめざして、クボタグループでは、「社会」「環境」「経済」の3つの側面から、企業としての責任を全うする経営に取り組んでいます。

企業としての健全な発展を通して社会に貢献していくためには、経済側面からの貢献をはじめ、環境保全に努めるとともに、また企業市民として社会的責任を果たし、地域との共生をめざす、真摯な行動が求められているからです。



5つの事業領域で社会に貢献

当社は、数千点に及ぶ製品群とサービスにより、社会インフラ整備、環境や日々の暮らしに関わる事業領域で、「社会の底力」として豊かな暮らしの基盤づくりに貢献しています。



- 農業** …… 「人にやさしく、土にやさしく」というコンセプトのもと農業の機械化と省力化に寄与する農業機械やさざまな産業機械の動力源として環境規制に対応したエンジン、農業関連製品を通じて食料の安定供給に貢献しています。
- 水** …… 各種パイプやポンプ、バルブなどの製品や下水・埋立排水・し尿処理などの浄水技術を活かし、管路やプラントの設計、施工までトータルに対応し、快適な生活環境づくりに取り組んでいます。
- 環境** …… 「人と環境の共生」をめざして、大量かつ多様な廃棄物の処理やりサイクルという社会的要請に対して、設計・施工・メンテナンスに至る一貫したソリューションで応えています。
- 都市** …… 独自の鋳造技術を応用した製品によって巨大な地下構造物や超高層ビルなど都市空間の高密化、多層化のニーズに応え、社会基盤づくりに寄与しています。
- 暮らし** …… 高齢化社会に対応する電動カート、生活者の利便性をはかる各種自動販売機や環境や美観に配慮した屋根材一体型の太陽光発電システムなど日々の暮らしに役立つ製品によって生活環境の向上に努めています。